



marantz[®]

5 Channel Power Amplifier

MM7055

2 Channel Power Amplifier

MM7025

取扱説明書


ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。


この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。




感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。



電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。



ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外で使用しないでください。
必ず実施 火災・感電の原因となります。



電源コードは大切に
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



電源プラグの刃および刃の付近にはほこりや金属物が附着しているときは
必ず実施 電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



火や炎を近づけない
火気禁止 本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。



内部に水などの液体や異物を入れない
禁止 機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水滴や水しぶきのかかるところに置かない
水ぬれ禁止 雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災・感電の原因となります。



ねじを外したり、分解や改造したりしない
分解禁止 内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



雷が鳴り出したら
接触禁止 機器や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



使用中、使用直後に高温となる部分には触らない
接触禁止 使用中、使用直後は上面や高温注意マークの付近には触れないでください。機器の放熱のために高温となっており、触れた場合にやけどをする恐れがあります。



風呂・シャワー室では使用しない
水場での使用禁止 火災・感電の原因となります。



この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない
水ぬれ禁止 こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 注意
付属の電源コードを使用する
 他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
 また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
🚫 禁止
 電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 必ず実施
電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない
 電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
🚫 禁止
 根元まで差し込んでゆりみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
 また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

🚫 禁止
電源コードを熱器具に近付けない
 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

🚫 禁止
電源プラグを抜くときは
 電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

🚫 ぬれ手禁止
濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
 感電の原因となることがあります。

🔌
すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるように設置する
 電源のスイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。
 万一の事故防止のため、本機をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

⚠ 必ず実施
機器の接続は説明書をよく読んでから接続する
 テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
 また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠ 必ず実施
電源を入れる前には音量を最小にする
 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

🚫 禁止
長時間音が歪んだ状態で使用しない
 スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

🚫 禁止
ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない
 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

🚫 禁止
不安定な場所に置かない
 ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

🚫 禁止
次のような場所には置かない
 火災・感電の原因となることがあります。
 ● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
 ● 湿気やほこりの多いところ
 ● 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

⚠ 必ず実施
壁や他の機器から少し離して設置する
 放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

🚫 禁止
通風孔をふさがない
 内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
 ● あお向けや横倒し、逆さまにする
 ● 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
 ● テーブルクロスをかけたリ、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

🚫 禁止
この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
 特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

🚫 禁止
重いものをのせない
 機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

🔌
移動させるときは
 まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

🔌
長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは
 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意
5年に一度は内部の掃除を
 販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
 特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

ご使用になる前に
 各部の名前
 基本接続
 操作
 用語の解説
 故障かな?と思ったら
 保証と修理
 主な仕様
 索引

お買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。

なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所 / サービスセンターにお問い合わせください。

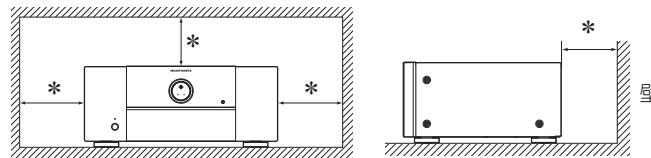
目次

ご使用になる前に	2
安全上のご注意	2
目次	4
使用上のご注意	4
付属品を確認する	5
本書について	5
本機の特長	5
各部の名前	6
フロントパネル	6
リアパネル	6
基本接続のしかた	7
準備	7
スピーカー接続	7
接続のバリエーション例	8
MM7055 と AV プリチューナー (AV7005) との接続	9
電源コードの接続	10
リモートコントロール接続	10
外部コントロール機器との接続	11
操作のしかた	12
電源をオンにする	12
電源をスタンバイにする	12
イルミネーションランプの点灯 / 消灯を切り替える	12
自動的に電源をスタンバイにする (オートスタンバイ機能)	12
用語の解説	13
故障かな?と思ったら	13
保障と修理について	14
主な仕様	14
索引	15

使用上のご注意

設置について

本機内部の放熱を良くするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。



* 30cm 以上

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1~2 時間放置してから使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

ステレオ音のエチケット



- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

付属品を確認する

ご使用前にご確認ください。

- | | |
|-----------------------------|---|
| ① 取扱説明書(本書)..... | 1 |
| ② 保証書(梱包箱に貼り付けています)..... | 1 |
| ③ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内..... | 1 |
| ④ 電源コード【本機専用】..... | 1 |
| ⑤ リモートコントロールケーブル..... | 1 |



本書について

□マークについて

- このマークは、関連情報を記載している参照先のページをあらわします。
- このマークは、補足説明や操作上のアドバイスをあらわします。
- ご注意** このマークは、操作時に留意していただきたい注意点や、機能の制約などをあらわします。

□イラストについて

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

本機の特長

電流帰還型ディスクリートパワーアンプ

マランツの Hi-Fi パワーアンプ、SM-11S1 に搭載されているコンプリメンタリー・プッシュプル回路を使った電流帰還型パワーアンプを搭載しています。このため、動作の安定度が向上し、ハイスピード・ワイドレンジな高密度の再生を実現しています。
パワーアンプの後段の電流・電圧変換増幅部は高域まで低歪で増幅するウィルソン型カレントミラー回路を搭載しています。

瞬時電流供給能力の向上

パワーアンプの最終段は、マランツの Hi-Fi パワーアンプ、SM-11S1 に搭載されている LAPT(高性能のパワートランジスタ)を搭載し、瞬時電流供給能力の向上を実現しています。電源部は大型トランスを搭載しています。
電源部の主要部品の一つである、ブロックコンデンサには音質検討を重ねたマランツオリジナル部品 33,000 μ F/71V \times 2(MM7055)、15,000 μ F/71V \times 2(MM7025) を搭載しています。
これらの電流供給能力の向上により、臨場感あふれるパワフルなサウンドをお楽しみ頂けます。

ピュアサラウンド思想に基づく高音質設計

各チャンネルアンプから排出される熱を効率良く処理するためにチムニー(煙突)型のヒートシンクと静音性に優れたクーリングファンを搭載しています。クーリングファンのコントロールは、高精度な温度センサー IC を使用して、アンプの発熱量の変化に応じて回転数を可変します。
これらにより、静音性に配慮したハイエンドシアターを想定した贅沢な仕様となっています。
その他に、高級オーディオコンデンサ、フィルムコンデンサなどの高品位パーツを随所に採用した高音質設計がされています。

BALANCED/UNBALANCED の切り替え機能

用途に応じて、BALANCED 入力と UNBALANCED 入力を各チャンネル毎に選択することができます。

リモート・パワー・コントロール

マランツの AV プリチューナー AV8003 や AV7005 と接続し、AV8003 や AV7005 の電源 ON/OFF に連動して、本機の電源が ON/OFF するリモートパワーコントロール機能を搭載しています。
AV8003 や AV7005 との接続はアースループを作らないグラウンド・フローティング接続とし、音質への悪影響を極力おさえました。

その他の機能

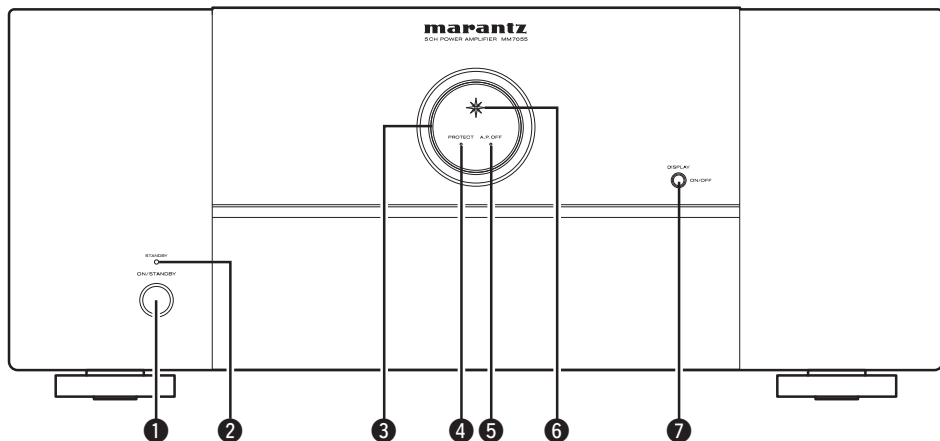
カスタムインストールに対応する IR フラッシュャーインプットや DC トリガーインプット、アウトプット端子を装備しております。

各部の名前

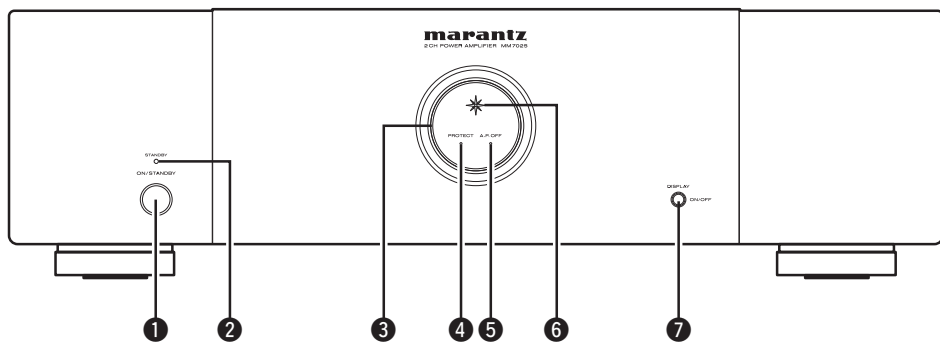
フロントパネル

各部のはたらきなど詳しい説明については、()内のページをご覧ください。

MM7055



MM7025

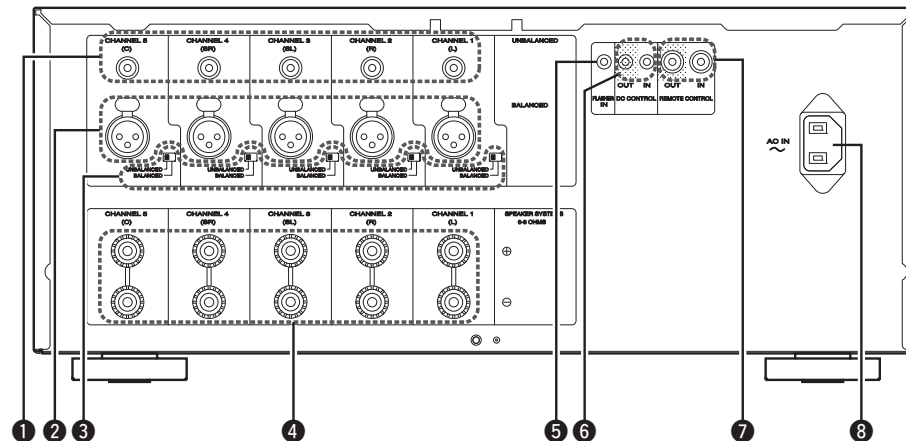


- ① 電源スイッチ(ON/STANDBY).....(12)
 - ② スタンバイ表示(STANDBY).....(12)
 - ③ イルミネーションランプ.....(12)
 - ④ プロテクション表示
(PROTECT).....(12, 13)
 - ⑤ オートパワーオフ表示(A.P.OFF).....(12)
 - ⑥ 電源表示.....(12)
 - ⑦ ディスプレイボタン(DISPLAY).....(12)
- ・ボタンを押すと、イルミネーションランプの点灯/消灯が切り替わります。
 ・ボタンを5秒以上押し続けると、オートスタンバイ機能を設定することができます。

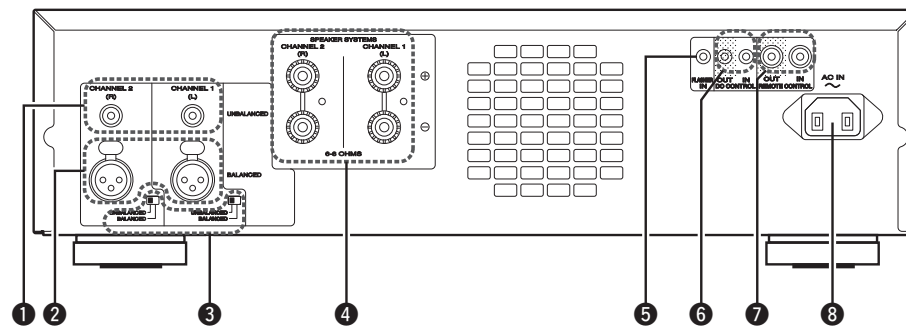
リアパネル

詳しい説明については、()内のページをご覧ください。

MM7055



MM7025



- ① RCA入力端子(UNBALANCED).....(9)
- ② XLR入力端子(BALANCED).....(9)
- ③ 入力切替スイッチ.....(7)
- ④ スピーカー端子
(SPEAKER SYSTEMS).....(9)
- ⑤ フラッシャー入力端子
(FLASHER IN).....(11)
- ⑥ DCコントロール端子
(DC CONTROL).....(11)
- ⑦ リモートコントロール端子
(REMOTE CONTROL).....(10, 11)
- ⑧ ACインレット(AC IN).....(10)

基本接続のしかた




ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- チャンネルを確かめてから、正しく接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因となることがあります。

準備

接続に使用するケーブル

お使いになる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

音声ケーブル(別売り)	
バランス接続 (XLR)	 バランスケーブル
アンバランス接続 (RCA)	 オーディオケーブル
スピーカー接続	 スピーカーケーブル

接続する入力端子を切り替える

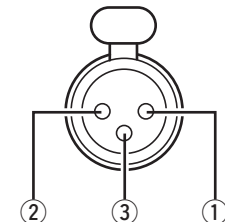


BALANCED : XLR 端子に接続するときに設定します。
UNBALANCED : RCA 端子に接続するときに設定します。

ご注意

入力切替スイッチで設定していない側の入力端子に音声を入力しても、スピーカーからは音声を出力しません。

XLR 端子の PIN 配置について



- ① GND(グラウンド)
- ② HOTT(ホット)
- ③ COLD(コールド)

本機の PIN 配置は、ヨーロッパ方式を採用しています。USA 方式では、② が COLD、③ が HOTT です。本機に USA 方式の PIN 配置の機器を接続するときは、バランスケーブルの片方のプラグの ② と ③ の配線を入れ替えてください。

ご注意

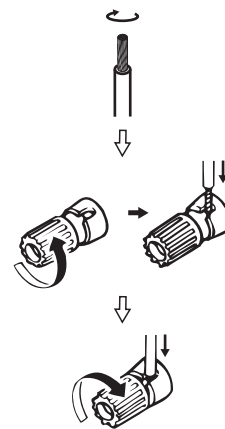
HOTT(ホット)と GND(グラウンド)、または COLD(コールド)と GND(グラウンド)を短絡して使用しないでください。

スピーカー接続

本機と接続するスピーカーのチャンネル(L/R/SL/SR/C)、+(赤)、-(黒)をよく確認して、同じ極性を接続してください。

スピーカーケーブルを接続する

スピーカーケーブル先端の被覆を 10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理をおこなう。

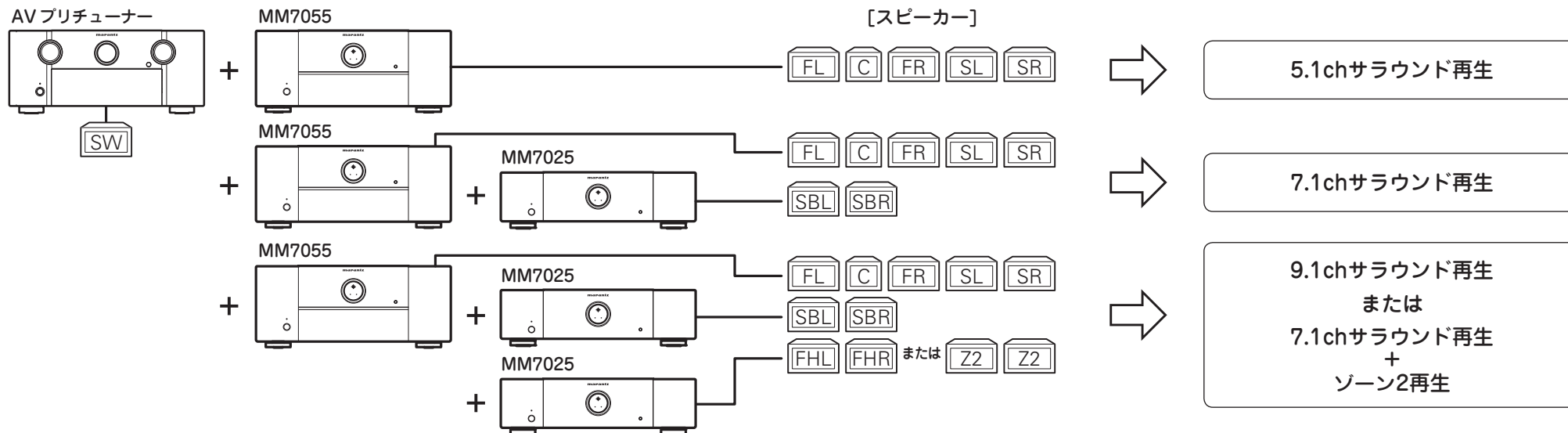


ご注意

- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します(13 ページ「保護回路」)。
- 通電中は、絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- 本機には 6 Ω 以上のスピーカーをご使用ください。

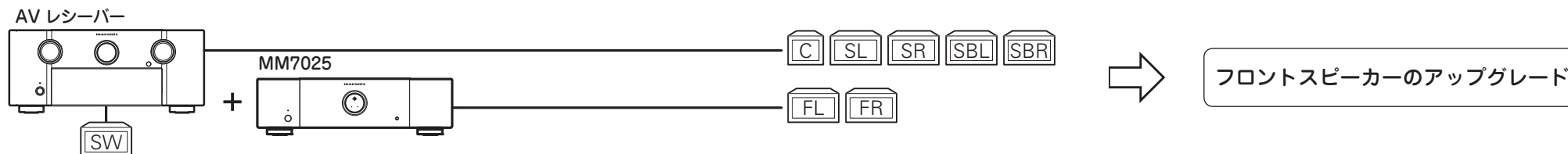
接続のバリエーション例

□AV プリチューナーとの接続

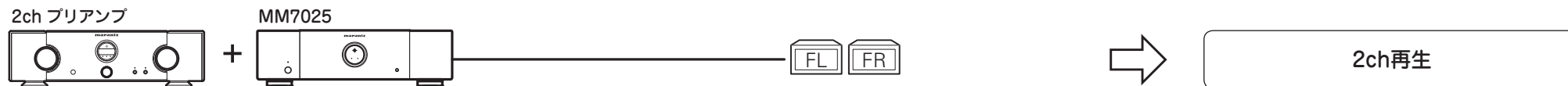


□AV レシーバーとの接続

AV レシーバーと本機の両方のアンプを使用します。プリアウト出力のある AV レシーバーを組み合わせてください。



□2ch プリアンプとの接続



FL	フロントスピーカー(左)	C	センタースピーカー	SL	サラウンドスピーカー(左)	SBL	サラウンドバックスピーカー(左)	FHL	フロントハイトスピーカー(左)
FR	フロントスピーカー(右)	SW	サブウーハー	SR	サラウンドスピーカー(右)	SBR	サラウンドバックスピーカー(右)	FHR	フロントハイトスピーカー(右)
Z2	ゾーン2スピーカー								

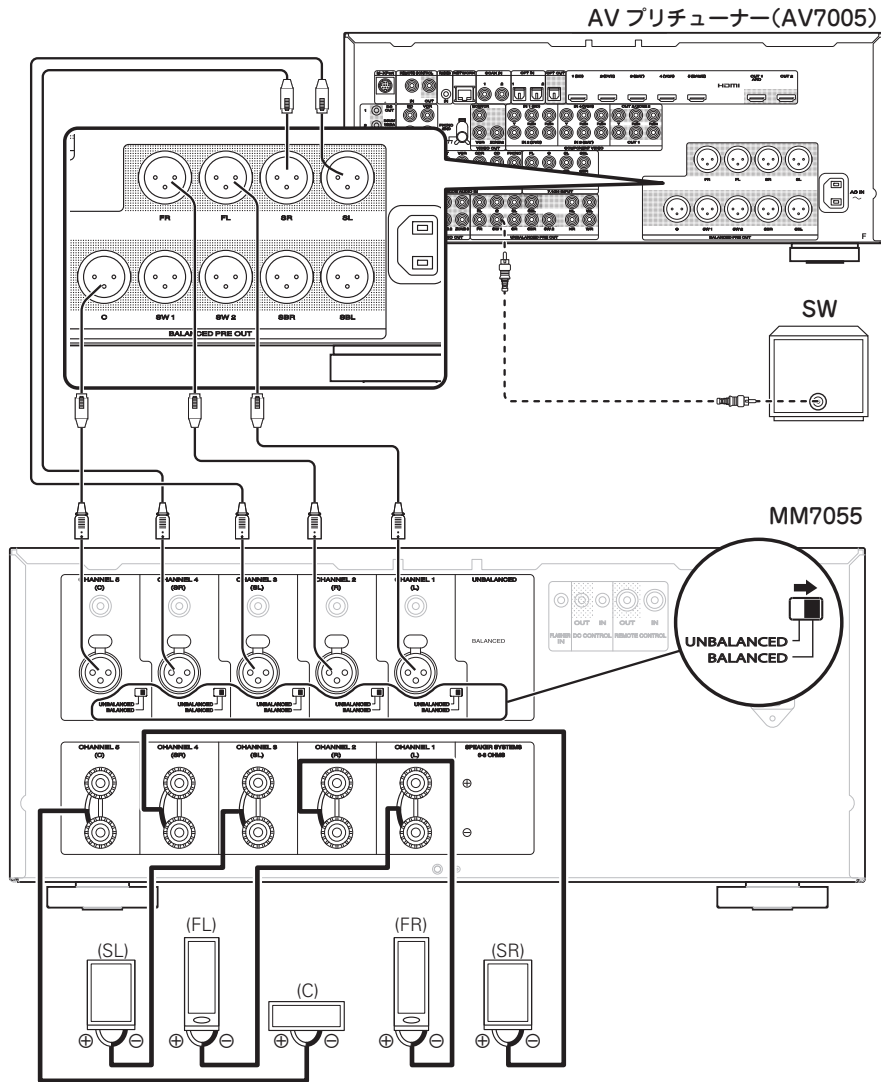
MM7055 と AV プリチューナー(AV7005)との接続

MM7055 と AV プリチューナー(AV7005)を使用して、5.1 チャンネルサラウンド再生をする場合の接続例です。

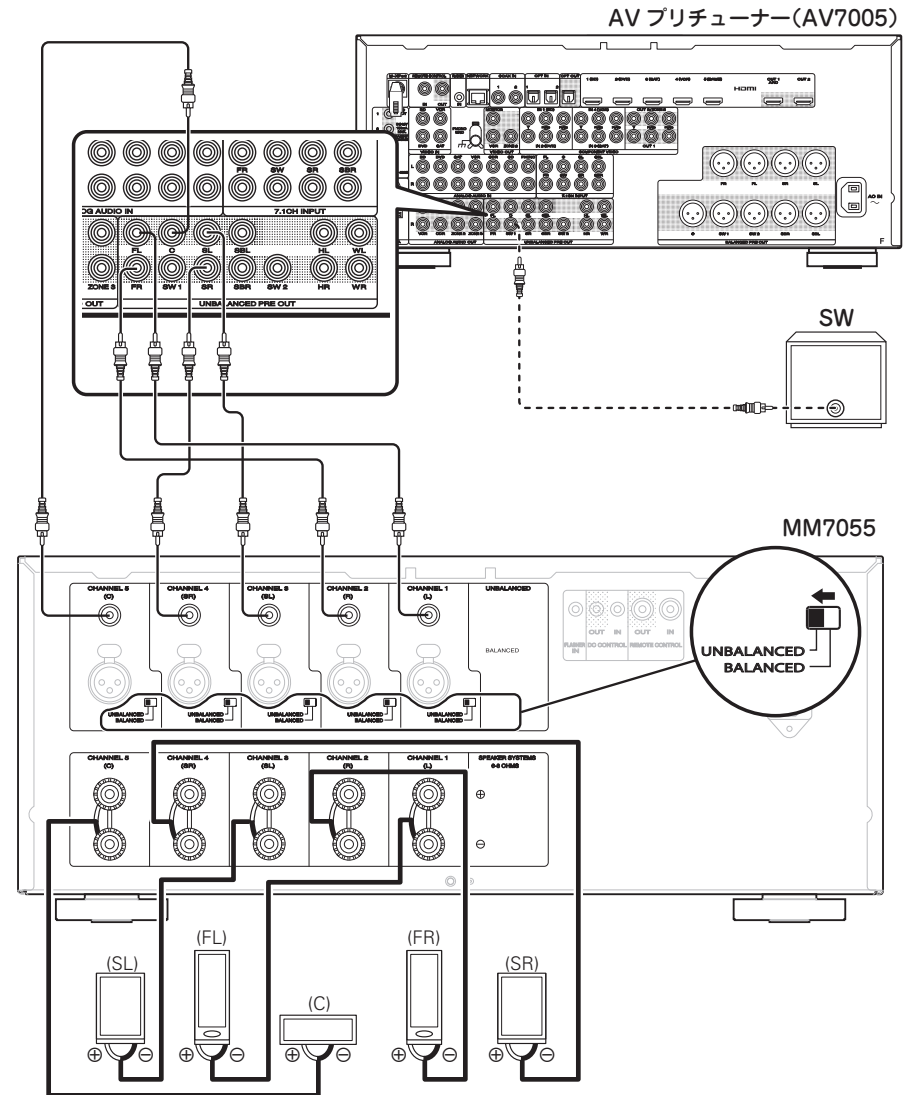


- AV7005 の設定および操作方法は、AV7005 の取扱説明書をご覧ください。
- 接続の際は、AV7005 の取扱説明書もあわせてご覧ください。

バランス接続(XLR 入力端子に接続する場合)



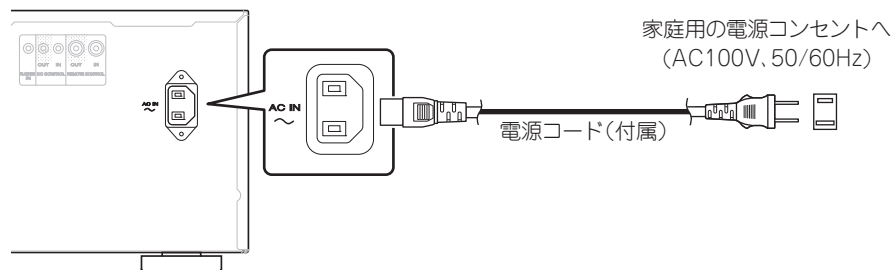
アンバランス接続(RCA 入力端子に接続する場合)



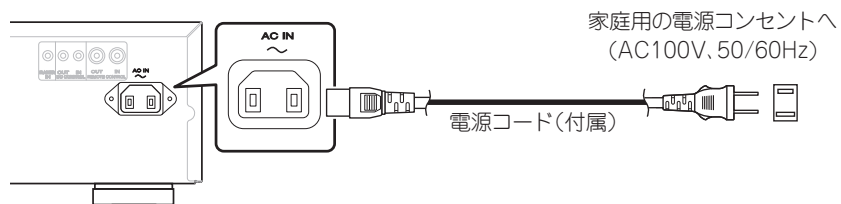
電源コードの接続

すべての接続が終わってから、電源コードを接続してください。

MM7055



MM7025

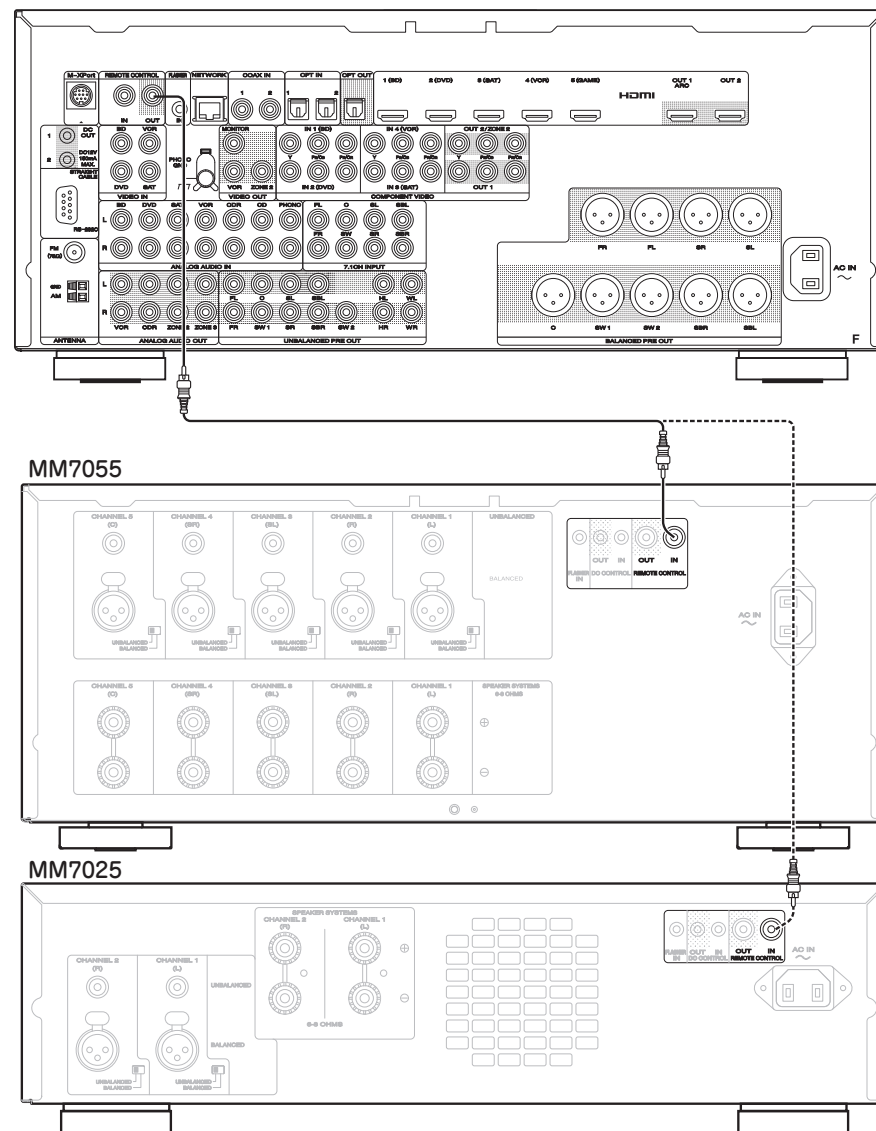


ご注意

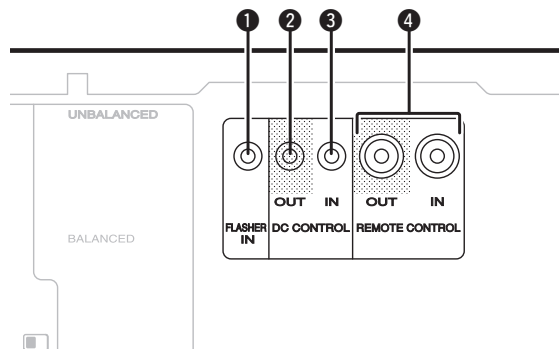
- 電源プラグは確実に差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- 電源がスタンバイ状態のときは、微量な電力を消費します。すべての電力を完全に遮断するときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

リモートコントロール接続

マランツのAVレシーバー AV8003 や AV7005 を接続すると、AV8003 や AV7005 の電源オン / スタンバイに連動して、本機の電源もオン / スタンバイさせることができます。詳しくは、AV8003 または AV7005 の取扱説明書をご覧ください。



外部コントロール機器との接続



① フラッシャー入力端子 (FLASHER IN)

本機にコントロールボックスやその他のコントロール機器を接続し、本機をコントロールするときに使用します。

② DCコントロール出力端子 (DC CONTROL OUT)

本機に DC コントロール入力端子がある機器を接続し、本機の電源オン / スタンバイに連動させて、接続した機器の電源をオン / スタンバイするときに使用します。DC コントロール出力端子からは、最大で 12V/44mA の電気信号を出力します。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

DC コントロール出力端子を外部機器の電源として使用しないでください。

③ DCコントロール入力端子 (DC CONTROL IN)

本機に DC コントロール出力端子がある機器を接続し、接続した機器の電源オン / スタンバイに連動させて、本機の電源をオン / スタンバイするときに使用します。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

DC コントロール入力端子に 5V ~ 15V の電圧が入力されると、本機の電源がオンになります。この範囲を超えた電圧を入力すると、故障の原因となりますので、ご注意ください。

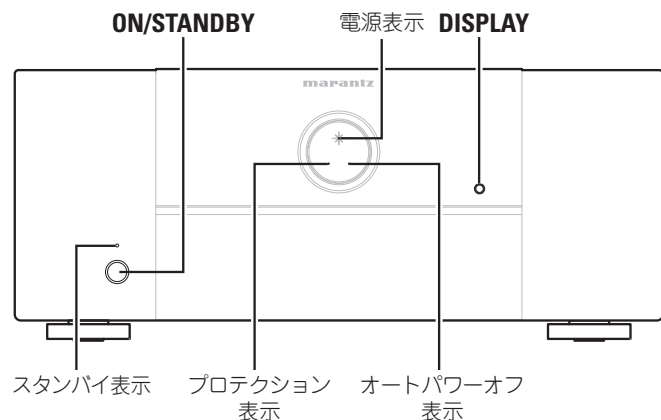
④ リモートコントロール端子

本機に外部のコントロール機器を接続し、外部機器で本機をコントロールするときに使用します。

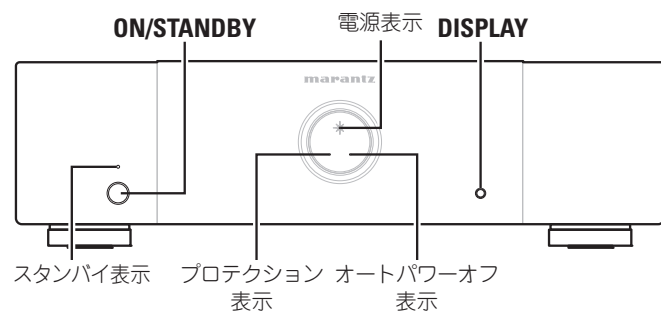
ご注意

マランツの AV プリチューナー AV8003 や AV7005 を接続すると、AV8003 や AV7005 の電源オン / スタンバイに連動して、本機の電源もオン / スタンバイさせることができます。詳しくは、AV8003 または AV7005 の取扱説明書をご覧ください。

□MM7055



□MM7025



電源をオンにする

電源がスタンバイのときに、**ON/STANDBY** を押す。

- プロテクション表示が約 7 秒間点滅し、電源がオンになります。
- 電源表示が点灯します。

ご注意

電源をオンにするときは、接続している機器の音量を最小にしてください。

電源をスタンバイにする

電源がオンのときに、**ON/STANDBY** を押す。

スタンバイ表示が点灯し、電源がスタンバイになります。

ご注意

電源をスタンバイにしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、万一の事故防止のために、いつでも電源プラグをコンセントから外せる位置に設置してください。

イルミネーションランプの点灯 / 消灯を切り替える

お買い上げ時の設定でご使用の場合、イルミネーションランプが点灯します。

おやすみになるときなど部屋を暗くしたい場合に、イルミネーションランプを消灯させることができます。

DISPLAY を押す。

ボタンを押すたびに、イルミネーションランプの点灯 / 消灯が切り替わります。

自動的に電源をスタンバイにする (オートスタンバイ機能)

オートスタンバイ機能をオンに設定すると、本機に入力信号が無く、無操作の状態が 30 分以上続いた場合などに、本機の電源が自動的にスタンバイになります。

- お買い上げ時の設定：オフ

DISPLAY を 5 秒以上押し続ける。

オートスタンバイ機能の設定により、オートパワーオフ表示が以下のように切り替わります。

- オートスタンバイ機能がオンのとき：点灯
- オートスタンバイ機能がオフのとき：消灯

用語の解説

さ行

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことでΩ(オーム)という単位であらわします。この値が小さいほど大きな電力が得られますが、アンプにかかる負荷は増えます。本機が対応しているインピーダンスのスピーカーをご使用ください。

は行

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。本機では、異常発生時にはスタンバイ表示とプロテクション表示が点滅し、スタンバイ状態になります。

故障かな？と思ったら

□ 各接続は正しいですか

□ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

□ スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

症状	原因/対策	関連ページ
電源が入らない。 または、入れてもすぐに切れる。	<ul style="list-style-type: none">コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。保護回路が働いています。このような場合、一度電源プラグをコンセントから抜き、1分以上経ってから再び電源プラグを差し込んでください。	10 10, 13
スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">スピーカーや接続している機器との接続を確認してください。入力切替スイッチを接続している機器の入力端子(BALANCED または UNBALANCED)に合わせて切り替えてください。	9 7
本機を使用中に突然電源が切れ、スタンバイ表示とプロテクション表示が、約 0.5 秒間隔で点滅している。	<ul style="list-style-type: none">機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいています。一度電源を切って、本体の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。本機を風通しの良い場所に設置し直してください。指定されたインピーダンスのスピーカーを使用してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため、保護回路がはたらいています。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直すか、端末処理をするなどした後で、接続し直してください。本機に接続しているアンプの音量を下げてから、電源を入れ直してください。	- - 7 7, 13
本機を使用中に突然電源が切れ、スタンバイ表示とプロテクション表示が、約 0.1 秒間隔で点滅している。	<ul style="list-style-type: none">保護回路が働いています。この場合、一度電源プラグをコンセントから抜き、本機の設置条件を見直し、スピーカーケーブルの接続を確認してください。再び電源をオンにしても同様の状態になる場合は、当社のサービスセンターまでご連絡ください。	9, 10, 13

保障と修理について

□保証書について

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

□修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただかずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

□依頼の際に

連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名 …… 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号 … 保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

□補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

□お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

□ MM7055

定格出力 (20Hz~20kHz/THD=0.08%, 2ch 同時駆動):	140W/ch 8 Ω 170W/ch 6 Ω
実用最大出力(1kHz JEITA, 2ch 同時駆動):	210W/ch 6 Ω
出力帯域幅(8 Ω 負荷, 0.09%):	5Hz~40kHz
周波数特性(1W 8 Ω):	8Hz~100kHz(± 3dB)
ダンピングファクター:	100
入力感度 / インピーダンス:	1.2V/22k Ω (UNBALANCED) 2.4V/30k Ω (BALANCED)
S/N 比(IHF-A):	105dB
電圧増幅度:	29dB
電源:	AC100V 50/60Hz
消費電力(電気用品安全法による)	660W
待機電力(スタンバイ):	0.2W
最大外形寸法:	440(幅)× 183(高さ)× 384(奥行き)mm
質量:	15.7kg

□ MM7025

定格出力 (20Hz~20kHz/THD=0.08%, 2ch 同時駆動):	140W/ch 8 Ω 170W/ch 6 Ω
実用最大出力(1kHz JEITA, 2ch 同時駆動):	210W/ch 6 Ω
出力帯域幅(8 Ω 負荷, 0.09%):	5Hz~40kHz
周波数特性(1W 8 Ω):	8Hz~100kHz(± 3dB)
ダンピングファクター:	100
入力感度 / インピーダンス:	1.2V/22k Ω (UNBALANCED) 2.4V/30k Ω (BALANCED)
S/N 比(IHF-A):	105dB
電圧増幅度:	29dB
電源:	AC100V 50/60Hz
消費電力(電気用品安全法による)	330W
待機電力(スタンバイ):	0.2W
最大外形寸法:	440(幅)× 126(高さ)× 352(奥行き)mm
質量:	10.8kg

* JEITA: (社)電子情報技術産業協会(略称: JEITA)が制定した規格です。

- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
- 本機は国内仕様です。必ず AC 100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC 100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。



索引

番号

2ch 再生	8
5.1ch サラウンド再生	8
7.1ch サラウンド再生	8
9.1ch サラウンド再生	8

欧字

X

XLR 端子の PIN 配置	7
----------------	---

かな

い

イルミネーションランプの点灯 / 消灯	12
---------------------	----

お

オートスタンバイ機能	12
------------	----

け

ケーブル	
オーディオケーブル	7
スピーカーケーブル	7
バランスケーブル	7
結露	4

こ

故障かな?と思ったら	13
------------	----

す

スピーカーインピーダンス	13
--------------	----

せ

接続	
アンバランス接続	9
外部コントロール機器	11
電源コード	10
バランス接続	9
リモートコントロール端子	10
接続する入力端子の切り替え	7
接続のバリエーション例	8

て

電源をオンにする	12
電源をスタンバイにする	12

ふ

付属品	5
フロントスピーカーのアップグレード	8
フロントパネル	6

ほ

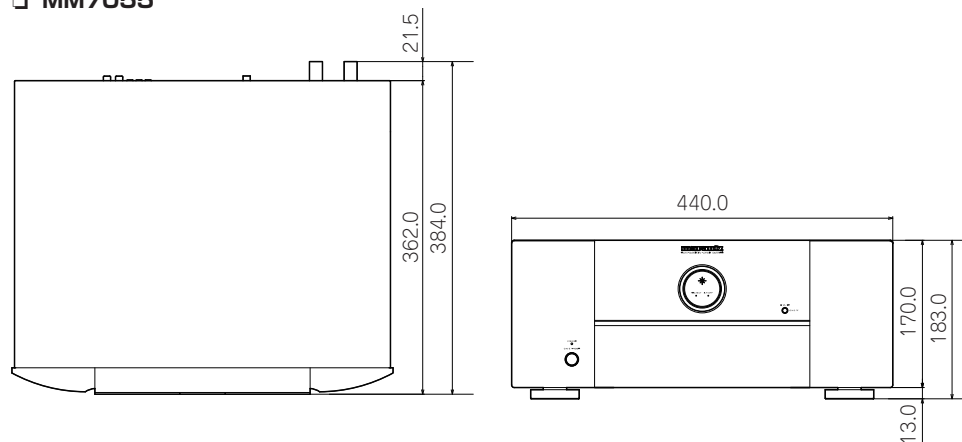
保護回路	13
------	----

り

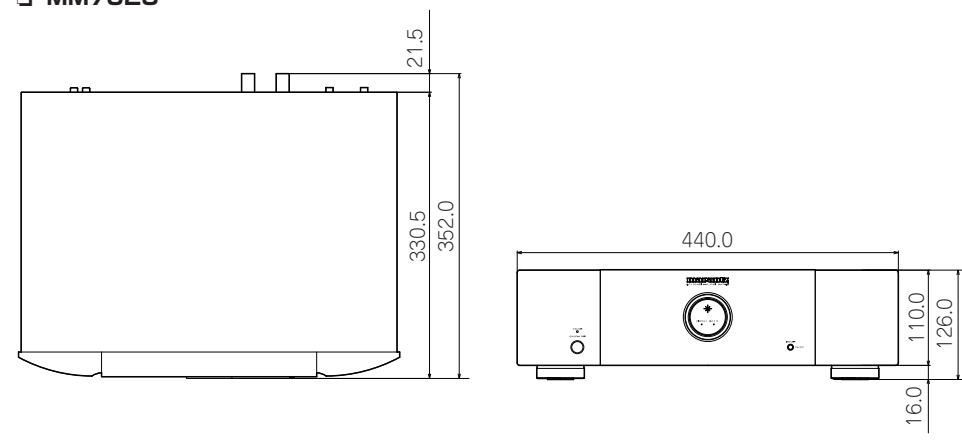
リアパネル	6
-------	---

外觀寸法図(単位 : mm)

MM7055



MM7025



marantz®

お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9:30 - 12:00 13:00 - 17:00

(土 日 祝日 当社休日を除く)

修理に関しましては添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」をご覧ください。

株式会社 **マランツ** コンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧ください。

<http://www.marantz.jp>